

## 「くらしき・こじま海の駅」ビジターバースのご案内

**場所** 児島観光港（岡山県倉敷市）  
 ※JR児島駅まで徒歩約5分

**位置** 北緯 34° 27'37" 東経 133° 48'36"

**施設** ビジターバース（3号浮桟橋）  
 ・延長：60m ・幅員：14m ・水深：3m

**対象船舶** 艇長160ft（48m）以下、満載喫水2.7m以下の  
 ビジター船舶※漁船、水上オートバイを除く



**申込方法** 利用日の原則1か月前から3日前までに①電話で空き状況・係船ピット番号を確認のうえ、  
 ②FAXで利用申請書を提出（FAXの使用が困難な場合は①の後、寄港時に窓口で提出）  
**申込先：児島観光港待合所（倉敷市児島駅前3-23） TEL086-473-0920 FAX086-473-4184**

**受付時間** 平日 8:30～17:15

**利用料金**

1係留1隻につき24時間までごとに 全長が9メートル未満のもの	<b>1,500円</b>
全長が9メートル以上15メートル未満のもの	<b>2,200円</b>
全長が15メートル以上のもの	<b>2,500円</b>

**支払方法** 利用日当日に児島観光港待合所の窓口で船舶検査証書を提示のうえ現金払い

**係留隻数** 艇長30ft（9m）以下の船舶の場合、最大10隻まで係留可能

**係留時間等** 離着桟は原則8:30から17:15まで／係留可能期間は最大7日間まで

利用規約  
・申請書



## 児島を彩る「白」と「ブルー」を辿る。



**○旧野崎家住宅・野崎家塩業歴史館**  
 江戸時代後期に「塩田王国」を築いた野崎武左衛門の屋敷。塩田に関する資料や歴史などが閲覧できます。  
 【アクセス】JR児島駅から下電バス利用（野崎家自宅前下車）またはタクシーで約6分



**●ジーンズミュージアム&ヴィレッジ**  
 ジーンズの資料館、ジーンズ作りの体験工場、アウトレットショップからなる注目のスポット。  
 【アクセス】JR児島駅から下電バス利用（Jeans Museum Entrance下車）またはタクシーで約15分



**●児島ジーンズストリート**  
 地元ジーンズメーカーのオリジナルティあふれる品々が揃います。  
 【アクセス】JR児島駅から下電バス利用（児島市民交流センター前下車）またはタクシーで約3分



**○むかし下津井回船問屋**  
 明治時代の回船問屋を復元した資料館。港町下津井にまつわる資料展示や特産品販売・食事処もあります。  
 【アクセス】JR児島駅から下電バス利用（下津井漁港前下車）またはタクシーで約15分



観光情報  
こじまさんぽ



令和5年5月1日時点版

児島観光港運営連絡協議会



鷲羽山山頂鐘秀峰（しょうしゅうほう）から瀬戸内海を仰ぐ。

【アクセス】JR児島駅から下電バス利用（鷲羽山第二展望台下車）またはタクシーで約10分

## 白と白と白。青と碧と藍。

岡山県倉敷市の南東に位置する児島。瀬戸内海国立公園の鷲羽山や王子が岳といった観光資源に恵まれるとともに、日本有数の繊維産業集積地としても古くから知られ、「国産ジーンズ発祥の地」のキャッチフレーズで国内外から注目を浴びています。

古くからの児島の名産を表す言葉、「児島三白（さんぱく）」。「三白とは塩の白、いかなごの白、綿の白のこと。元々島であった土地柄、土は塩を含んで米作には不向き。そこで塩気に強い綿作が急速に普及します。三白の白に代わり、新たに児島の歴史を刻む色がブルー。「晴れの国」にふさわしい、澄み切った空の青、穏やかな瀬戸内海の深く鮮やかな碧。ジーンズの染料、インディゴの藍。児島を彩る色を探してみませんか。

瀬戸内海の豊かな自然と瀬戸大橋が織りなす雄大な景色に癒されて。高い技術と生産量に裏打ちされたジーンズ、帆布（はんぷ）、畳縁（たたみべり）、学生服を手に。

下津井のタコをはじめとした海の幸、さぬきの対岸で花ひらいた「児島うどん」、地元で人気の甘味に舌鼓を。児島でしかできない体験があります。

「くらしき・こじま海の駅」は、瀬戸内海から倉敷・児島への玄関口として、快適なビクターバースを整え、皆さまをお待ちしています。

